



26

みずどり みち  
水鳥の道

山口県光市浅江4丁目

光市は、山口県の東南部に位置し、瀬戸内海国立公園を一部に含む自然環境に恵まれた街である。特に、虹ヶ浜・室積海岸は、旧毛利藩お国自慢の「虹の松原」として樹齢150年以上の黒松が存在し、日本の名松100選、日本の白砂青松100選などにも選ばれている。〔文化・観光〕虹の松原、周防橋立、島田人形浄瑠璃芝居



光市は、市内を南北に貫流する島田川によって運ばれた白砂からなる美しい海岸に恵まれた人口五万人の小都市である。島田川の河口には一年を通じ、ユリカモメ、ウミネコ、サギなど、多くの野鳥が群れ集まり、その種類は七〇余になる。

この恵まれた自然と、市民がより気軽にふれあえる場所として整備されたのが「水鳥の道」である。河岸沿いにインタローッキングブロックを敷設した歩道、植栽、さらに街灯、ベンチ、案内板を設置し、市民がいつでも野鳥と親しみ、散策を楽しめる道とした。

休日にはバードウォッチングを楽しむ親子連れやのんびりと散歩するお年寄りたちでにぎわい、群れ飛ぶ鳥の姿はひとときのやすらぎを与えてくれる。